

# 生活単元学習指導案

日 時 平成24年9月27日(木) 5校時

対 象 (男1名 女2名 計3名)

指導者 T1 T2 T3

## 1 単元名 「町を探検しよう」

## 2 単元について

### (1) 単元のねらい

本単元「町を探検しよう」は、児童が身近な生活圏である地域に出て、様々な場所を訪れたり人と接したりする中で、それらが自分の生活とかかわっていることが分かり、地域に親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようになることを目指している。

その中でも、特に人とかかわりは重要な要素である。身近な地域で出会った人々との会話や様々な交流を通して、児童は、地域をより身近に感じ、地域に愛着をもつことができるようになる。また、地域の人々への思いは、活動すればすぐに生まれてくるものではなく、何度も繰り返し交流していくことによって、地域の人への思いが次第に熟成されていくものである。将来、地域に住むであろう児童にとって、自分達の地域を知り、様々な地域の活動に参加することは、将来社会生活を送る上でも、余暇活動としても重要な活動である。

本単元では具体的な活動を通して、地域の人々や場所に対するそれぞれの児童の親しみの気持ちや、愛着をさらに深めていくことができるようにする。その上で、人とかかわる場面や自分の思いを持つ場面を作り、それを表現するための支援を行うことで、児童が思いを人に伝えるための力を身につける上で意義があると考えられる。

### (2) 児童の実態

本学級は、肢体不自由児4名(1年1名、4年3名)と知的障がい児2名(1年1名、2年1名)が在籍している。1年生1名、2年生1名、4年生1名以外は、通常学級との交流学习を通して学校生活を送っている。本時の対象となる児童3名は、素直な心を持ち純真な子どもたちである。そして、学年が上がるごとにお互いかわりを多くもちながら生活することができるようになってきている。また、1年生が入学したことにより、下学年のお世話を優しくしながら生活するようになってきている。

学区に住んでいる児童は1名で、他の2名は学区外に住んでいる。自動車での移動が多いため、学区の様子をあまり知ることがなく、どのような場所があり、どのような役割があるのかなど、よく分かっていない。そこで、実際に地域に出て、様々な場所と関わったり人と接したりすることは、将来社会生活を送る上で非常に重要であると考えられる。

### (3) 指導について

これまで生活科では、学校探検をし、教室や特別教室の場所を調べたり、校内の先生方とかかわったりする活動を行ってきた。生活単元学習では、公共機関を利用してアイーナに行き、図書室や食堂を利用する活動を行ってきた。国語では、身近な人にインタビューをして、取材内容をまとめる活動を行ってきた。算数では、買い物遊びをして、物の選択やお金の計算・支払いの練習を行ってきた。図工では、建物を描いたり、粘土や折り紙で彫塑したりする活動を行ってきた。本単元では、これまでの学習を活用して活動させていきたい。

また、町探検を通して人との関わりも大切にしていきたいと考える。町探検の様子を紹介したり、インタビューしたお店の人々に対してお礼の手紙を書いたりすることによって、かわりを通して自分の学びを見つめさせるとともに、表現力を高めていきたい。その際、自分の思いを表出する方法や意欲が児童によって異なっていることから、思いを表出するスキルを身につけさせるための段階的な支援が必要である。そこで、見本を見せることや、教師と一緒に思いを伝えるなどの、個々の実態に応じた支援を行っていく。

今年度の「“河北”輝きステージプラン」のテーマは、家族愛である。児童にとって一番身近な存在である家族とかかわりを通して、家族への思いを深めていきたい。そこで、学習したことを家族に紹介する場を設定し、交流を図っていきたい。

### 3 単元の目標

- 地域の人々に親しみをもち、挨拶やインタビューを行い、地域の人々と適切に接しようとする  
ことができる。(関心・意欲・態度)
- 地域にはどのような施設や場所があるか分かる。(知識・理解)
- 探検を通じた気づきを自分なりに表現することができる。(表現)
- 安全に活動したり、マナーなどに気をつけてインタビューしたりすることができる。(技能)

### 4 指導計画と評価計画 (全13時間 本時：8 / 13)

時間	指導計画	評価の観点	個に応じた具体的評価 (A・B・Cは児童)
1	学習計画を立てよう	関心・意欲・態度	A 2人の発表を聞いて模倣しながら、自分の言葉で発表しようとする。 B 通学路を想起しながら、学校周辺の様子について話そうとする。 C 学校周辺の建物や店について話そうとする。
2	探検計画を立てよう	関心・意欲・態度	A 2人の発表を聞いて出かける場所について考えようとする。 B 学校周辺の場所で行ってみたい場所について話すことができる。 C 学校周辺の建物や店など詳しく知りたい場所について発表することができる。
3	探検のきまりをつくろう	知識・理解	A 2人の発表をよく聞き、安全について、同じ意見を話すことができる。 B 道路の渡り方について発表することができる。 C お店などの見学のルールや安全な行動について話すことができる。
4 ・ 5	学校周辺を調べよう	技能	A みんなと一緒に行動することができる。 B 元気な声で挨拶することができる。 C お店や建物の場所について気づいたり、交通安全に気をつけたりして歩くことが分かる。
6 ・ 7	近所の方にインタビューしよう	技能	A みんなのインタビューの仕方を聞きながら、自分でインタビューすることができる。 B 元気に挨拶をして、インタビューすることができる。 C 訪問の目的を話し、相手に分かりやすいようにインタビューをすることができる。
8  ( 本 時 ) ・ 9	探検地図を作ろう	表現	A 学校周辺の地図を見て、自分が訪問した場所にシールを貼ったり、絵に描いたりすることができる。 B 自分が訪問した場所の絵を描いたり、工作で表したりすることができる。 C 学校周辺の建物や様子について文章で表すことができる。

10 ・ 11	調べたことをまとめよう	表現	A 訪問したお店や場所の名前を話すことができる。 B 自分が描いた建物や場所に名前をつけ、何をするとするか、話すことができる。 C 学校周辺の建物や人々の様子について、文章や絵などで説明を書くことができる。
12 ・ 13	みんなに紹介しよう	表現	A 訪問したお店や場所の名前を紹介し、その時の自分の思いを話すことができる。 B はきはきした声で、建物や場所、その様子について紹介することができる。 C 学校周辺の建物や人々の様子について、自分の感想を加えながら、説明することができる。

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

町探検で見たり、聞いたり、調べたりしたことを絵や工作や文章などで表すことができる。

### (2) 児童の実態と個別の目標 (3) 本時の展開

対象児童	実態	個別の目標
A	自分の思いはなかなか表現できないが、教師のアドバイスを素直に受け入れることができる。また、友だちの話の聞いたり動きを見たりして、発言することができる。	学校周辺の地図を見て、自分が訪問した場所にシールを貼ったり、絵に描いたりすることができる。
B	自分の興味をひく活動には、非常に意欲的になる一方で、興味のない活動には、全く参加しようとしなない。物を作ったり、絵を描いたりする活動は好む。自分の描きたいものに固執する傾向がある。	自分が訪問した場所の絵を描いたり、工作で表したりすることができる。
C	学級の中では、年長でリーダー的存在である。自分の思いや感想などを発表することができる。細かい作業などには支援が必要である。初めて体験することには、戸惑いを見せる。	学校周辺の建物や様子について文章で表すことができる。

段階	学習活動	教師の役割 (◆は見つめる, ◇はかわり合いの手立て)	期待する児童の反応		
			児童A	児童B	児童C
導入 10	1 本時のめあてと今日の活動の確認をする。	・学校周辺の探検の写真をしながら、場所や様子を想起させ町探検の地図を作ることを確かめる。	・出かけた場所を発表する。	・出かけた場所にあった物や売っていた物について発表する。	・探検した場所で、出会った人について発表する。
	2 めあての確認をする 探検地図をつくろう。	・できた地図をだれに紹介したいか考えさせる ・決まらない児童には、声がけをする。	・お母さんやお父さんに紹介したい	・お父さん、お母さん、交流の先生に見せたい	・家族、交流学級の友達や先生に紹介したい。

展 開 25	3 写真を手がかりにして、作りたい物を決める。	・絵や立体や文章など見本の提示をする。	<予想される施設> ・ダイソー ・保育園 ・ローソン ・高校 など ・マルイチ ・橋, 信号		
	4 地図の表し方を考え制作し、発表する。	・表し方を考えさせる。  ・作った地図を紹介させる。 ◇互いの発表を見たり聞いたりすることで、友達に関心をもたせる。	・教師と一緒に表したい物を決め、色塗りをしたり、シールを活用して、地図に貼ったりする。  ・地図に貼った物について紹介する	・粘土や箱など立体で表すことに決める。  ・作った物について紹介する。	・探検で出かけた場所や出会った人やインタビューした内容について文章で表すことに決める。  ・インタビューして分かった事も発表する。
終 末 10	5 本時のまとめをし、ふり返りをする。	・カードを活用してふり返らせ、互いのがんばりを認め合わせる。 ◆自分の頑張りを見つめさせるとともに、互いに認め合わせることで、次時の意欲付けを図る。	・色の塗り方や貼り方などのがんばりに気付く	・高さや色など建物の様子に気付く	・二人のがんばりを述べるとともに次時にがんばりたいことを発表する。
	6 次時の予告をする。	・次時も地図の完成に向けて活動することを知らせる。			